

金久保内出遺跡の足跡 発掘調査の足跡

令和4年度から続く金久保内出遺跡の発掘調査では、縄文時代、古墳～平安時代、中世、近世の遺構・遺物が見つかりました。

まず縄文時代後期では、土墳が2基確認されました。神流川扇状地の末端において、これまで確認されていなかった縄文時代における人々の生活の痕跡が確認されました。

続く古墳時代から平安時代は、148軒もの竪穴住居跡が確認され、竪穴住居跡の建て替えが繰り返されながら、約300年の間集落が営まれていました。

また竪穴住居跡の分布は、第3・4地点の古墳時代から奈良時代の一群と、第1・7・8地点の奈良時代から平安時代の一群に分けられます。集落が北から南へ変遷した様子が確認されました。

中世では、南北朝時代の掘立柱建物跡や井戸跡が確認されました。近接する金窪城（金窪館）跡が造られた伝承時期と近いものです。城跡との関連は不明ですが、当時の様相を明らかにする遺構と考えられます。そして近世に入ると、土地の性格が墓域に変わったことが確認されました。

このように、上里町内では発見例が少ない縄文時代の遺構と遺物、古墳時代から平安時代の大規模集落、中世の建物群、近世の墓域など、長い期間にわたった人々の暮らしが明らかになってきました。これらは、上里町の歴史を考えうえで、貴重な発見です。

第2地点

第3地点

第4地点

第5地点

第6地点

第7地点

第8地点

第9地点

第10地点

第11地点

第12地点

第13地点

第14地点

第15地点

第16地点

第17地点

第18地点

第19地点

第20地点

第21地点

第22地点

第23地点

第24地点

第25地点

第26地点

第27地点

第28地点

第29地点

第30地点

第31地点

第32地点

第33地点

第34地点

第35地点

第36地点

第37地点

第38地点

第39地点

第40地点

第41地点

第42地点

第43地点

第44地点

第45地点

第46地点

第47地点

第48地点

第49地点

第50地点

第51地点

第52地点

第53地点

第54地点

第55地点

第56地点

第57地点

第58地点

第59地点

第60地点

第61地点

第62地点

第63地点

第64地点

第65地点

第66地点

第67地点

第68地点

第69地点

第70地点

第71地点

第72地点

第73地点

第74地点

第75地点

第76地点

第77地点

第78地点

第79地点

第80地点

第81地点

第82地点

第83地点

第84地点

第85地点

第86地点

第87地点

第88地点

第89地点

第90地点

第91地点

第92地点

第93地点

第94地点

第95地点

第96地点

第97地点

第98地点

第99地点

第100地点

第101地点

第102地点

第103地点

第104地点

第105地点

第106地点

第107地点

第108地点

第109地点

第110地点

第111地点

第112地点

第113地点

第114地点

第115地点

第116地点

第117地点

第118地点

第119地点

第120地点

第121地点

第122地点

第123地点

第124地点

第125地点

第126地点

第127地点

第128地点

第129地点

第130地点

第131地点

第132地点

第133地点

第134地点

第135地点

第136地点

第137地点

第138地点

第139地点

第140地点

第141地点

第142地点

第143地点

第144地点

第145地点

第146地点

第147地点

第148地点

第149地点

第150地点

第151地点

第152地点

第153地点

第154地点

第155地点

第156地点

第157地点

第158地点

第159地点

第160地点

第161地点

第162地点

第163地点

第164地点

第165地点

第166地点

第167地点

第168地点

第169地点

第170地点

第171地点

第172地点

第173地点

第174地点

第175地点

第176地点

第177地点

第178地点

第179地点

第180地点

第181地点

第182地点

第183地点

第184地点

第185地点

第186地点

第187地点

第188地点

第189地点

第190地点

第191地点

第192地点

第193地点

第194地点

第195地点

第196地点

第197地点

第198地点

第199地点

第200地点

第201地点

第202地点

第203地点

第204地点

第205地点

第206地点

第207地点

第208地点

第209地点

第210地点

第211地点

第212地点

第213地点

第214地点

第215地点

第216地点

第217地点

第218地点

第219地点

第220地点

第221地点

第222地点

第223地点

第224地点

第225地点

第226地点

第227地点

第228地点

第229地点

第230地点

第231地点

第232地点

第233地点

第234地点

第235地点

第236地点

第237地点

第238地点

第239地点

第240地点

第241地点

第242地点

第243地点

第244地点

第245地点

第246地点

第247地点

第248地点

第249地点

第250地点

第251地点

第252地点

第253地点

第254地点

第255地点

第256地点

第257地点

第258地点

第259地点

第260地点

第261地点

第262地点

第263地点

第264地点

第265地点

第266地点

第267地点

第268地点

第269地点

第270地点

第271地点

第272地点

第273地点

第274地点

第275地点

第276地点

第277地点

第278地点

第279地点

第280地点

第281地点

第282地点

第283地点

第284地点

第285地点

第286地点

第287地点

第288地点

第289地点

第290地点

第29

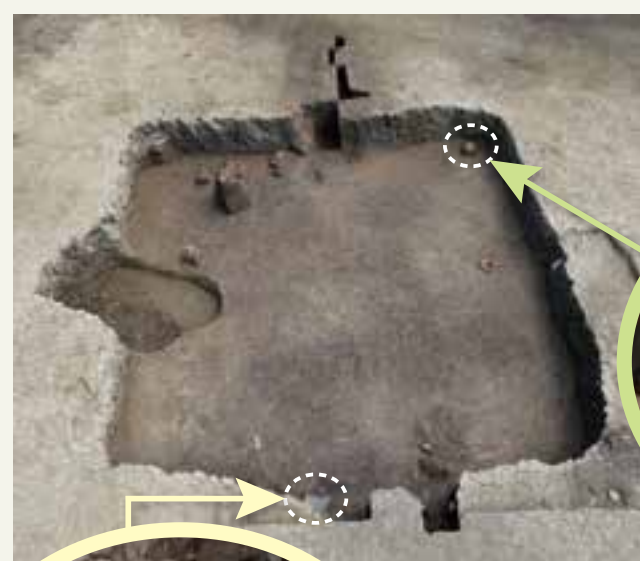
第8地点 ～古代の竪穴住居跡～

調査中のものを含め、奈良時代と考えられる竪穴住居跡が、6軒見つかっています。



第206号竪穴住居跡

この住居跡は深さが80 cmもあります。床面近くから、土師器の坏や甕、須恵器の坏が出土しています。



第205号竪穴住居跡 土師器坏

土師器の坏や、須恵器坏の蓋が出土しました。これらの遺物の特徴から、住居跡の時期は8世紀前半と考えられます。

須恵器坏蓋

凡 例

- …奈良時代以前
- …奈良時代（8世紀代）
- …中世以降



第1023号土壙

遺構の形状から火葬施設と考えられます。長時間火を焚いたため壁は赤く焼け、中には大量の炭化物が堆積していました。炭化物層の中にはごく少量の骨片と、銭貨が2枚含まれていました。

第7地点 ～中世の遺構～

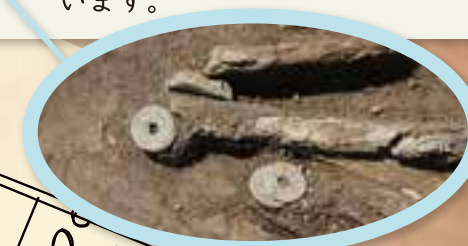
ぼったてばしらたてものあと 掘立柱建物跡や土壙墓などが検出されました。



第1012号土壙

人骨が検出された土壙墓です。肘と膝を曲げた屈葬の状態で埋葬され、胸元には六文銭が副葬されていました。

第7地点では、第1003号土壙からも人骨が見つっています。



第14号掘立柱建物跡

桁行2間 × 梁行2間の掘立柱建物跡です。柱穴の形状や覆土（埋まった土）の様子から、中世の建物跡と考えられます。



第1017号土壙

中世後期から江戸時代初頭の土壙です。染付の皿が出土しました。

